

# 株式会社 イグリ

## DX宣言書

2026年5月22日  
株式会社 イグリ  
代表取締役 田邊 啓助

### □ 経営理念

信頼と技術で地域の未来を創る

### □ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 各現場の進捗状況・採算管理をリアルタイムに把握できる環境を整備し、迅速な意思決定と安定した経営基盤の強化を実現します
- ◆ デジタル技術を活用した業務の効率化・平準化を図り、技術継承と人材育成を推進することで、地域インフラを支え続ける持続可能な体制を構築します

### □ DX戦略・施策

#### ➤ フェーズ1(現在 ~ 2027年4月)

戦略 「現場・バックオフィス業務の効率化に向けた基盤整備」

- 施策
- ・ 現状の業務フローやシステムの利用状況、情報連携可否等を整理し、DX推進に向けた課題を明確化
  - ・ 日報のデジタル化に向けて、入力方法や運用ルールの整備および紙データの移行を実施
  - ・ 全体工程の可視化に向けて、複数現場の進捗・着工予定等を共有・調整できる仕組みを整備し、効率的な工程管理体制を構築
  - ・ 採用強化に向けて、自社の魅力や働く環境が伝わるホームページへ刷新し、採用に繋がる情報を発信
  - ・ ガス・水道部門の現場監督・管理業務を横断的に担える人材育成を推進し、多能工化を強化
  - ・ DX推進風土醸成のため、DXへの取組意義や活用イメージを共有する社内説明会や勉強会を実施

#### ➤ フェーズ2(2027年5月 ~ 2028年4月)

戦略 「システム活用による情報の可視化と運用整備の推進」

- 施策
- ・ 原価管理・見積業務の精度向上に向けて、共通単価や進捗率管理等の運用ルールを整理するとともに、自社業務に適した原価管理システムの活用・刷新を検討
  - ・ 発注元ごとに異なる提出書類・管理方法を整理し、効率的に対応できる情報管理体制を整備
  - ・ システム活用の定着化サポートや勉強会を通じて、ITリテラシー向上を推進

#### ➤ フェーズ3(2028年5月 ~ 2029年4月)

戦略 「データ活用の推進と持続可能な施工体制の構築」

- 施策
- ・ フェーズ2で可視化したデータを分析・活用し、迅速かつ精度の高い経営判断を実現
  - ・ 積算業務の効率化に向けて、AI等を活用した必要材料の自動算出や積算支援機能の導入を推進
  - ・ 蓄積した現場データや施工・工程管理ノウハウの共有を進め、継続的な業務改善と技術継承を推進

### □ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

### □ DX推進目標

- ・ 工期短縮率 : 2025年度比 6%短縮(~2029年4月)
- ・ 粗利率 : 2025年度比 2%向上(~2029年4月)